

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	子どもの保健Ⅱ				
担当者氏名	葛本 ひとみ				
授業方法	講義	単位・必選	1・選択	開講年次・開講期	4年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-1 国際社会に貢献できる人材育成 ○ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

- ① 講義の形態:
- ・配布資料をもとに講義・実験・演習形式で行う。
 - ・パワーポイントで進め内容により各種実践的教材を用いる。
 - ・演習レポート、ミニレポートの作成
- ② 学習方法:
- ・実習・演習内容を十分理解して、実技を身につける。

《授業の到達目標》

子どもの健康と安全を守るため、必要な知識や技能を習得し実践力を養う。

- ・主な保健活動を理解し、保健活動年間計画の作成法や、PDCAサイクルによる保育実践の方法がわかる。
- ・豊かな生活ができる環境づくりや支援の方法を身につける。
- ・疾病や事故の予防や、適切な対処方法について身につける。
- ・心身の健康問題や発達障害など地域連携について理解する。

《成績評価の方法》

平常点(学習態度、提出物、発表) 20%

演習レポート及び演習態度 60% ミニレポート 20%

《テキスト》

「子どもの保健」 監修:大澤眞木子 編著:小國美也子 (日本小児医事出版社)

《参考図書》

保育所保育指針(厚生労働省編)保育所保育指針解説(フレーベル館) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府、文部科学省、厚生労働省) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館) 幼稚園教育要領(文部科学省)幼稚園教育要領解説(フレーベル館)、関連するガイドライン

《授業時間外学習》

【予習】「子どもの保健Ⅱの授業計画表」により学習内容を確認し、参考図書を熟読すること。実技に使用する配布プリント・準備物は、必ず用意して授業に出席すること。
 【復習】配布プリントの見直しを行い、各回の学習・演習の復習をすること。

《備考(教員経験の有無)》

この科目は小学校の教員経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	保健活動の計画と評価	①保育の保健活動、保健計画の作成と活用
2	保健活動の計画と評価	②保健活動の記録と自己評価と実際
3	保健活動の計画と評価	③子どもの保健に関する個別対応と集団全体の健康と安全・衛生管理と実際
4	子どもの保健と実際	①保健における養護と教育の一体性と実際、子どもの健康増進と保育の環境
5	子どもの保健と実際	②子どもの保健演習
6	子どもの保健と実際	③子どもの発達援助と保健活動と実際
7	子どもの保健と実際	④子どもの生活習慣と心身の健康と実際
8	子どもの疾病と適切な対応	①感染症の予防と対策及びその対応
9	子どもの疾病と適切な対応	②個別的な配慮を必要とする子どもへの対応
10	事故防止および健康管理・安全管理	①事故防止および健康管理・安全管理への組織的取組と対応
11	事故防止および健康管理・安全管理	②保育における事故の応急処置及び事例演習
12	事故防止および健康管理・安全管理	③保育における看護及びその対応
13	心とからだの健康問題と地域保健活動	①子どもの養育環境と心の健康問題、発達障害
14	子どもの疾病と適切な対応	③障がいのある子どもへの適切な対応
15	心とからだの健康問題と地域保健活動	②心とからだの健康づくりと地域保健活動